

社会福祉法人 豊寿会
障害者支援施設

記念号

NO.100

令和5年1月発行

発行/最上ふれあい学園

広報

とっきび

発行/最上ふれあい学園

わたしたちは
和顔愛語

のサービスを実践し
幸福実現に最善を尽くします



☎999-6105

山形県最上郡最上町大字宮沢 4467

Tel (0233) 45-2236

FAX (0233) 45-2011

HPアドレス:<http://www.vega.ne.jp/~mogamifg/>
Eメールアドレス:mogamifg@vega.ne.jp



園長挨拶 松井 平喜

最上ふれあい学園は、平成2年の開所以来、着実に「広報紙を進め、今年初の創刊から100号を迎えることとなり、

多くの職員があつてこそ、感謝の気持ちを持て、感謝の気持ちをこめて、感謝の気持ちをこめて、感謝の気持ちをこめて、

かわらぬ、女性も男性も、すべての人がお互いに、人権や尊厳を大切に、生き生きとした人生を、



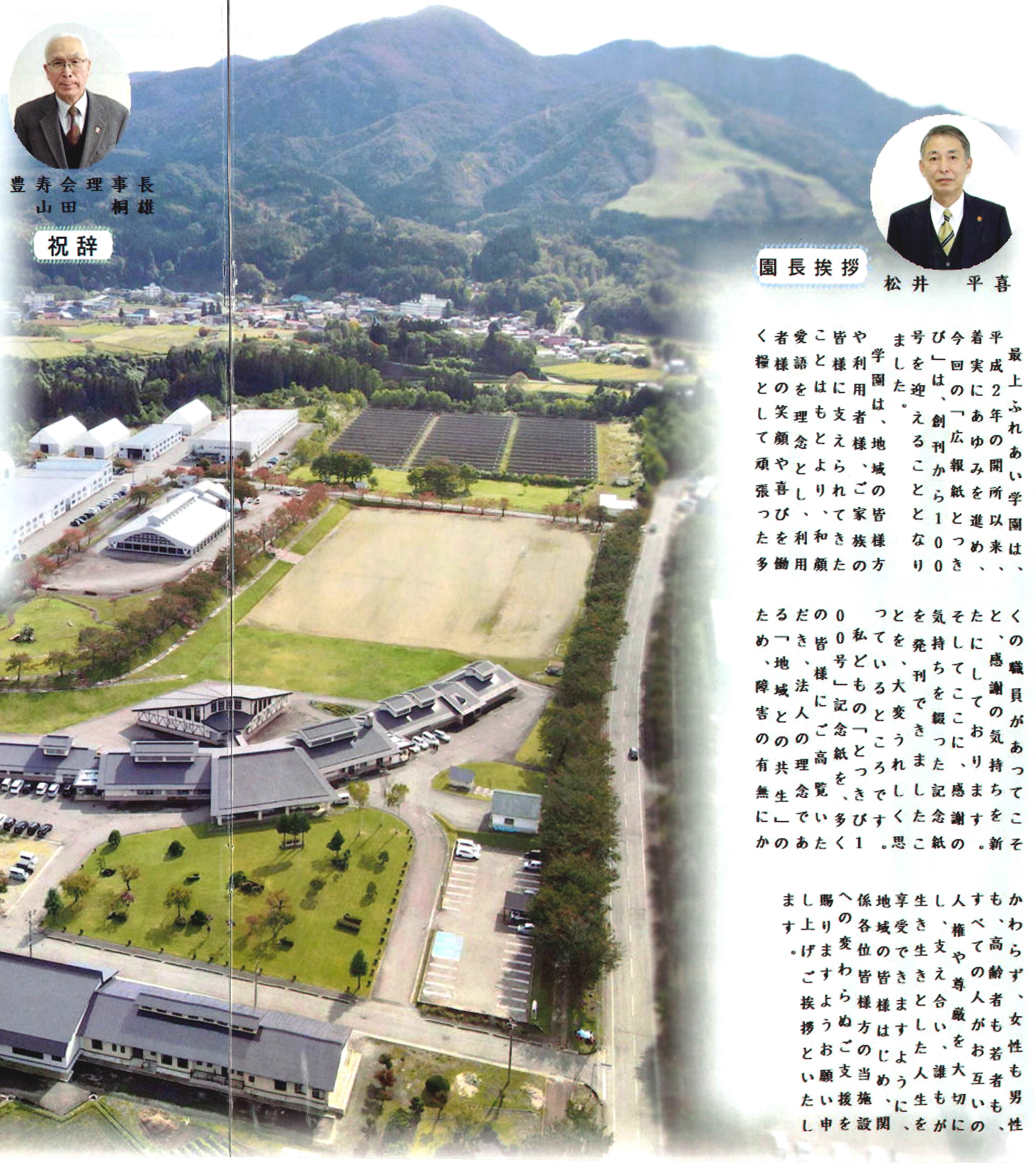
豊寿会理事長 山田 桐雄

祝辞

おめでとう『とつきび』100号

「とつきび」100号の発行、誠にありがとうございます。おめでとうございます。お祝い申し上げます。ご利用者、ご家族、ご関係者、ご友人、ご同僚、ご協力者、ご支援者、ご関係者、ご友人、ご同僚、ご協力者、ご支援者、

人として、もううれしい限りです。今、障害者福祉も世界が変わろうとしており、大きく変わろうとしており、大きく変わろうとしており、大きく変わろうとしており、大きく変わろうとしており、



「利用者さんとの生活のあゆみ」



課長 阿相 喜悦

平成2年の開設当初は利用者の皆さんも若く20代の方が多く施設自体の環境も野原にポツンと立つ広く大きな建物という印象でした。職員は利用者さんの活動の場を広げようと周辺の整備を（草刈り等）行ないつつ活発な動きに対応しておりました。その頃は和室で8畳4人の居室構成が主であり、居室への理解や担当職員としてのかかわり方など苦慮した思いが浮かべられます。ただ、建物も新しく当時としては何もかも新鮮でしたが、活動的な利用者の皆様にとっては少し狭かったのかな。

その後法改正もあり、年を重ねるごとに車椅子を利用される方も出始め、学園の本館が狭く感じられるようになり別棟として朝陽の家が建設されました。また、本館も機械浴槽を導入し身体機能の衰えた方にも安心して入浴していただける環境を整備しつつ、居室へのベッド導入も試みております。さらに平均年齢が高くなると高齢化問題に直面、朝陽の家に隣接する形でベッドを活用した個室を完備した建物を増築し高齢化に対する環境整備を行ないつつ、本館も8畳4人部屋から8畳2人部屋へと環境の改善に取り組んでおります。

日中の取り組みに関しては、開所当時は多彩な活動から利用者の皆様の特徴に応じた取り組みを行ない、身体を動かす事をメインに行ないつつ、年を重ねるごとにその方々の年齢や特性に合わせた取り組みへと変化、現在は作業棟やリサイクル棟を建設し作業活動を行うグループと身体を動かし健康維持増進を目指すグループ、介護を必要とするグループなど利用者の皆様に応じた体制整備に取り組んでおります。今後も利用者の皆様の状況に対応すべく努力を続けてまいりたいと考えております。



令和4年4月1日	令和3年9月15日	令和3年1月19日	令和3年1月15日	令和元年9月1日	平成31年4月1日	平成30年12月15日	平成28年10月1日	平成28年4月1日	平成27年12月8日	平成27年9月8日	平成26年3月28日	平成26年3月1日	平成24年4月1日	平成24年3月1日	平成23年9月12日	平成22年7月6日	平成21年4月1日	平成20年4月1日	平成19年12月25日	
障害児相談支援事業開始	大規模修繕改修工事竣工(東京都補助事業)	大規模修繕改修工事竣工(東京都補助事業)	本館管理棟事務室等移動改修工事竣工	新居住体制開始(朝陽の家増築棟利用開始)	第5代園長 松井平喜就任	自立訓練棟「朝陽の家」増築工事竣工	災害発生時における福祉避難所の設置	一般相談支援事業開始	連携に関する覚書締結(都委託施設)	敷地舗装・園敷地ロータリー(改修工事)	敷地舗装・園敷地ロータリー(改修工事)	大規模修繕改修工事竣工(屋根、外壁全面改修等)	特定相談支援事業所サポートセンター「みらい」開所	第4代園長 大沼清司就任	「小さな宇宙」及び「利用者画集」制作	エコ作業支援棟「くればす」建築工事竣工	短期入所事業開始(定員2名)	日中一時支援事業開始(定員6名)	自立訓練棟「朝陽の家」建築工事竣工(東京都共同募金会補助事業)	平成19年12月25日



「利用者さんとの日々の中で」

学園のあゆみ



施設の経過(沿革)

～33年ふりかえり～



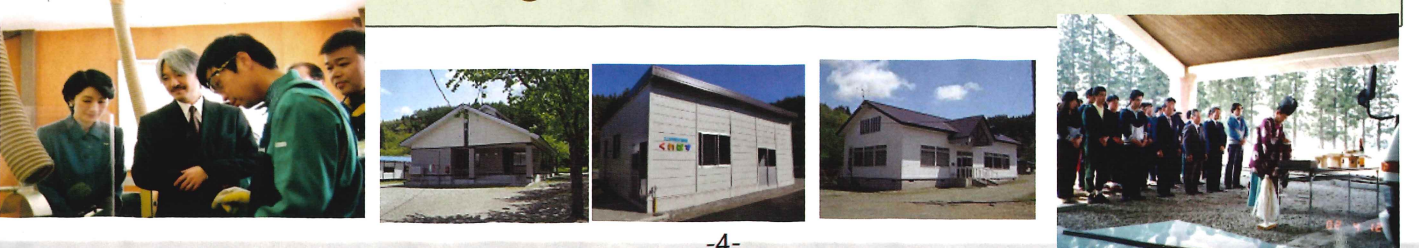
次長 笹原 正浩

山形県内に初めて東京都委託施設として、平成2年4月に開所して早33年が過ぎました。当初、利用者さんも職員も若く、元気な声と、いっぱい笑顔が学園にあふれていました。



その反面、知らない土地に来て、何をするのも分からず、不安な表情の方もありました。そんな不安を取り除けるのかを考えた時、自分たちが楽しめば、利用者さんも楽しむことができるのではと思い、学園の広大な敷地を利用して、様々なことを行いました。芋煮会・落ち葉を集めての焼き芋・ブルーシートのプール・川遊び等々、職員 利用者さんの笑顔が絶えない活動ができました。和顔愛語を基本理念として、利用者さんの幸福実現に向けて共に歩んでおります。現在、平均年齢は53才、平均在園期間は25年となっており、開所当時の利用者さんは52名となっております。高齢化が進む中、支援の在り方介護の在り方が今後の大きな課題と考えております。

平成14年4月1日	平成12年7月30日	平成11年11月30日	平成10年3月25日	平成9年12月10日	平成9年11月10日	平成8年4月1日	平成7年6月22日	平成6年10月10日	平成5年11月30日	平成2年5月24日	平成2年5月8日	平成2年4月5日	平成2年4月2日	平成2年4月2日	平成2年4月1日	平成2年3月26日	平成1年7月26日	昭和63年8月23日	昭和63年7月27日	
第3代園長 山田桐雄就任	開設 10周年記念式典	(日本自転車振興会補助事業)	生活訓練棟「私たちの家」建築工事竣工	作業訓練棟「くれよん」建築工事竣工	(中央競馬主社会福祉財団助成事業)	利用者玄関等増築改修工事竣工(増築 71.73m ²)	第2代園長 金田常也就任	最上ふれあい学園増築工事竣工(140.91m ²)	最上ふれあい学園開園 5周年記念式典	地域交流ホーム「朋友館」竣工	最上ふれあい学園竣工	最上ふれあい学園開園	採用職員交付式(4.1付)	初代園長 真柄敬一就任(4.1付)	最上ふれあい学園起工式	最上ふれあい学園竣工	設置事業の委託受け入れ議決	社会福祉法人豊寿会にて施設	東京都委託施設誘致準備委員会設置	



日々の健康管理について

「小さいなことをコツコツと」

口は生きるためとても重要な器官です。学園でも健康の取り組みの一つに口腔ケアを入れています。口腔内を清潔にすることで感染予防、摂食・嚥下機能の維持が見込めるようになります。口腔ケアは、歯磨きや歯間ブラシ、舌ブラシなど、いろいろな器具を使い、歯と歯の間、舌の裏側、歯の根元など、細かいところまで磨き、清潔に保ちます。

このかけがえのない笑顔も大切に、今後も、健康な体作りを続けていきます。

看護課長 笠原 和歌子

「小さいなことをコツコツと」

訓練棟
「朝陽の家」

本館
「西棟」

本館
「東棟」

【由来】

広報紙 第一号（1990年号）で
広報紙名を「とつきび」にした理由が
八十人の個性あふれる利用者様達が
学園生活を通して徐々に成果をあげ
一人ひとりの成果が集まされて八十人
の和となり、とつきびの実のようにな
りのあるものになってほしいという
期待をこめて名付けたそうです。

これからも、八十人の笑顔の
広報紙・とつきびに
ご期待いただけたらと思います。

とつきび

「とつきび」とは、この地方で
「どうもろこし」のことを言います。



六最上町は雪深い町ですが、自然豊かな環境に囲まれています

令和



平成



・ソリ乗りしました



・馬頭観音へ初詣へ



・馬頭観音へ



・新音かるた大会

雪まつり



・ソリ乗り



・雪の国にのめり



・スキー

・雪まつりで灯ろう作りや雪上綱引きをしていました。今は、個々に楽しめるアトラクションを行なっています。

六稲刈りも、初めの頃は杭かけで大変でしたが、民生員の方の協力を得て行っていました

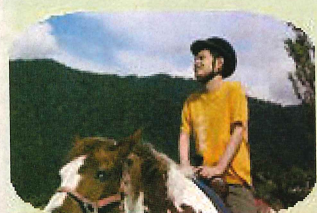
秋

令和



・稲刈り 昔と今

平成



・前森高原へ乗馬クラブ



・畑仕事頑張っています



・デイ旅行で買い物



・秋の散歩



・芋煮会



・最上祭り

収穫祭



・コンサート



・神事



・俵神輿



・出店



六夏になると、海やプールに行ったり、鮎焼きをしたり沢山の思い出が思い出されます。夏祭りには、出店や「すいか割り」に夜には、満天の星空の中、打ち上げ花火！

夏

令和



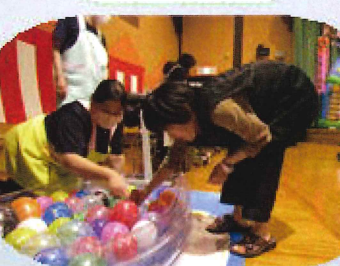
・夏の夜空に打ち上げ花火！！



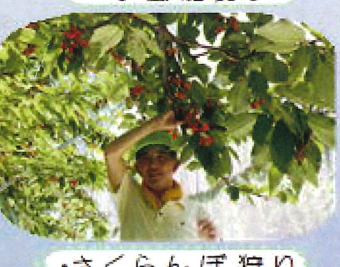
・鮎焼き



・夏祭りカラオケ



・水風船釣り



・さくらんぼ狩り

・山形といたら！やっぱり「さくらんぼ！！」今年も、学園さくらんぼは食べごろ。

平成



・夏の思い出



・海に行って泳ぎました



・スイカ割り、その後は美味しく頂きますよ



・プールで楽しく泳ぎましたよ



・夏の夜空の下で...



・夏の夜空の下で...



・夏の夜空の下で...

六ふれあい学園の敷地には沢山の桜の木があり満開の時期には、とても素晴らしい開花が見られます

春

平成



令和



・桜を見ながら散歩



・田植え



・春の散歩

スポーツフェスタ

・グラウンドからゲートボール場今は、体育室にて個々に合わせた競技に変化しています。



・応援合戦



・パン(お菓子)食い競争



ふれあい厨房



栄養士 高橋 恵

今年で三十三年を迎え、長い年月が経ちました。歴史ある様々な写真や眺めてみると、数えきれないほどの出来事と時間を積み重ねて今を迎えているのだと、学園の利用者さんの日々の楽しみや利用者の笑顔が利用者さんにとっての大切な支えであり、食事があ

ることが伝わってきまな地域の方々の様々な行事や行事が中心にも「食」が中心に深まる、伝わり、役割を担うこと、き責任を感じるともに、やりがいと充実感でいっぱいです。献立が成るに当たり、季節や節分や冬至など、節や節分の野菜を取り

入れ四季を感じていただくことです。そして、食をやすき、好みに合わせて提供すると、す。年々高齢化も進み、やわらかく加工したもののや食べやすい食事形態に変更したりする利用者さんも増えてきました。多職種連携し、利用者さん一人ひとりに合わせた食事を提供し、いつまでも食べる楽しみを忘れず、食事を支えるような食事を提供し



厨房職員一同、取り組んでいきたいと思っております。

厨房の風景



◎毎日、大きい鍋で「山形産の米」はえぬき・つや姫の提供

特別メニュー

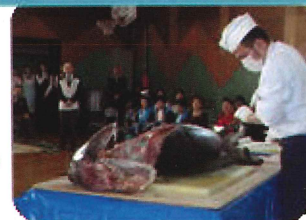
お楽しみバイキング



以前の行事や個別支援提供の食事を紹介



・グループに分かれ競パーティー



・マグロの解体ショー

手作り行事食



◎最近では、行事のお弁当も厨房スタッフさんの手作りが増えました。

ソフト食の紹介



◎ソフト食は、軟菜食をつぶしてペースト状にしたものに、トロミ剤を加えたりして形よく固めた食事です。軟菜食よりも柔らかいので、食べやすく、無理なく消化できます。見た目の美しさは、軟菜食と同様に、通常食とかわりません。

作業の紹介

リサイクル



・町内の設置回収場所より業者の方が集めたトレーが搬入されています。



・綺麗に拭いたり、洗ったり、トレーを分別し搬出します。

菓子班



パウンドケーキ & クッキー



・地域の方に美味しく食べて頂けるように心を込めて作っております



一歩一歩 フェスタ

ふれあい マルシェ

農耕班



・畑で収穫した野菜や果物を詰めました。「ふるさと宅配便」



稲刈り

田植え

みそ作り



今から26年前の1996年に、学園に果樹園をつくる計画が上がりました。担当をさせていたいただき、あれは当時の中村仁町長さん(前)の鶴の一声で実現した計画であったと記憶しています。

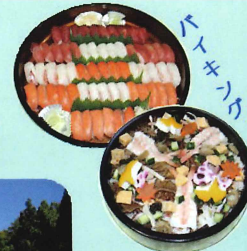
その当時、最上町出身の冒険家の大場満郎さんの南極・北極単独徒歩横断成功のお祝いの席で、中村町長が「第二次世界大戦中、中国満州に兵隊として参戦し、つ死ぬかわからない戦況下の中、その時食べたリンゴの味が忘れられないからリンゴを作っている」と話され、それが学園の果樹園の設立に繋がったと聞いております。

またその頃は田んぼでは毎年秋になると、町内の民生委員、利用者様、職員での全面積手刈りを行い、収穫したもち米は収穫祭で餅として振る舞い、菜は雪まつりでお祭りで活用しています。今では農耕機の導入で大幅に効率化されましたが、やはり大事な工程での利用者様の手は欠かせません。

現在、農耕班とお菓子班とリサイクル班の三班に分かれ、一ふれあいマルシェで模擬店販売をしたり、地元企業の応援をしたりして地域貢献しております。

今シーズンは雪が多く、果樹園の除雪作業は取り組んでいません。夏場は熊・ハクビシン・イノシシ、冬は野ウサギや野生の小動物の被害を乗り越え、利用者の皆様、職員を結集し、美味しい農産物、地域の皆様や保護者、利用者様に提供しています。

支援員 佐藤 浩満



トキキツ

訓練棟



東棟

山形市 温泉にて
昼食を食べました！

西棟

庄内方面へ
行ってきました。



いちよう・からたち



あかしや・からまつ



かえで・けやき・しらかば



こぶしくるみ・かつら



東女子



ホテルリッチ & ガーデン酒田



美味しく食べました♪



買物を楽しみました♪



バスの中であやつを食べました！

ドライブに行ってきました

学園でバイキングを食べました♪

寄贈

- 9/5 佐藤電気管理事務所様より
【稲刈りバインダー 1台】
- 9/12 最上町様より 【鮎200匹】
- 10/5 菅原畳店様より 【畳8枚】
- 12/21 マックスバリュ最上店様より
【クリスマスケーキ 11箱】

学園のご案内図が新たに設置されました。



この度、学園の敷内入り口に新たに「最上ふれあい学園」の看板と「ご案内図」が設置されました。

編集後記

この度「とつきび」100号となる記念号の発行に際し、利用者様始めこれまでふれあい学園を支え続けて下さった保護者の皆様、また温かい眼差しを注ぎ続けて下さった地域の皆様に改めて感謝を申し上げたいと存じます。皆様のおかげをもちまして、開所時から続いてきた学園の広報事業である「とつきび」も、ついに100号を迎えることが出来ました。本当にありがとうございます。

今回100号作成にあたり写真やアルバムを振り返りますと、学園での楽しいひと時を過ごされている利用者様と保護者様や地域の皆様の笑顔や、それを支え続けてきた諸先輩職員の方々の直向きな思いが、そのままふれあい学園33年の歴史となつて刻まれておりました。

今後はコロナ感染症への対策はもちろん、利用者様の高齢化へ向けての施設整備などの直面する課題への対応。そして障がい者支援・介助の一部機械化や外国人労働力の導入などの世界的規模で巻き起こっている福祉の新しい潮流。しかしその根本にあるのは「人と人とのつながり合い」であり、「和顔愛語」であると確信しております。

福祉事業に課せられる課題は大きく難しいものとなりますが、この「とつきび」100号に溢れているたくさんの方々の笑顔のために、職員一同気持ちを新たに挑戦して参りたいと存じますので、どうか皆様の変わらぬご理解と益々のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。記事 広報委員会一同